

松山大学法学部学術講演会

演題：十字軍とは何か—中世ヨーロッパの聖戦について考える

講師：山内 進 先生（一橋大学名誉教授・前一橋大学長）

講演概要

「正しい戦争」はあるのか、あるとすればどのような論理構成によってそれが導き出されるのか。これまで十分な注意が払われてこなかった歴史を掘り起こし、多角的な「ヨーロッパ」理解につながる先駆的な研究で、我が国の法制史研究および歴史研究をけん引してきた山内進教授をお迎えし、十字軍を題材に、現在の「常識」とは異なる「常識」が通用していた中世ヨーロッパ世界へといざなう。中世ヨーロッパ世界の学びは、我々の「ヨーロッパ」理解を豊かにしてくれるのみならず、ジハード（聖戦）がぶつかり合う現代の国際情勢を紐解く上でも、極めて貴重な示唆を与えるであろう。我が国を代表する法制史研究の大家を本学にお迎えできる僥倖を喜ぶたい。

コーディネーター

松山大学法学部教授 遠藤 泰弘



講師：山内 進 先生の経歴

1949年 北海道生まれ

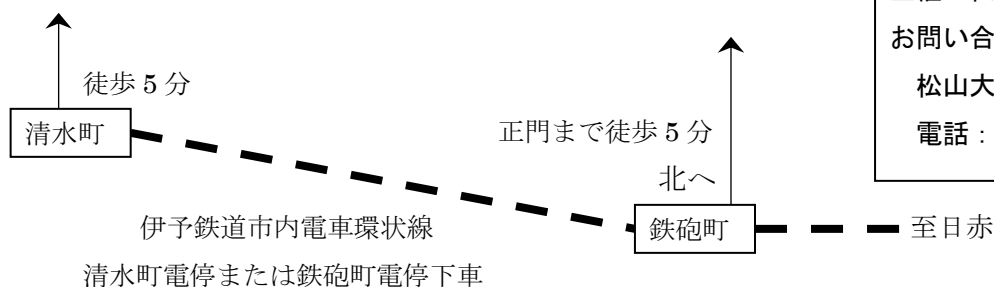
一橋大学法学部卒業、成城大学法学部助手、同講師、同助教授、同教授、一橋大学法学部教授
一橋大学長を経て、現在、一橋大学名誉教授
著書—『北の十字軍 「ヨーロッパ」の北方拡大』（講談社・サントリー学芸賞受賞）、『掠奪の法観念史』（東大出版会）他多数

日時：2018年 9月27日(木)

18:00～19:30

入場無料・参加自由

場所：松山大学 カルフール・ホール



主催 松山大学法学部

お問い合わせ先

松山大学教務課 法学部担当

電話：089-926-7137（直通）